

令和6年度(令和5年度実績)

業務概要



鳥取県立喜多原学園

目次

I 施設の概要

- 1 名称及び所在地
- 2 設置主体及び施設種別
- 3 目的
- 4 敷地平面図
- 5 沿革

II 理念と支援方針

- 1 理念
- 2 支援方針
- 3 令和6年度支援方針及び行動方針

III 職員及び児童の状況

- 1 職員について
 - (1) 職員定数及び組織図
 - (2) 勤務体制
- 2 児童について
 - (1) 在籍児童数の推移
 - (2) 退所児童の状況（退所先、進路）
 - (3) 年度中在籍児童の入所理由
 - (4) 年度中在籍児童の入所経路及び措置変更元
 - (5) 年度中在籍児童の担当児相
 - (6) 児童の在籍期間（R6.3.31基準）
 - (7) 年度中在籍児童の虐待認定児童数
 - (8) 年度中在籍児童の精神的、心理的な特別なケアをしている児童数
- 3 生活日程
- 4 家族との連携
 - (1) 家族との交流（児童）
 - (2) 家庭実習
 - (3) 家族との交流（職員）
- 5 関係機関との連携

IV 学校教育

- 1 教職員
- 2 来校状況
 - (1) 参観週間
 - (2) 期末懇談期間
- 3 会議

V 令和5年度事業の実績

- 1 令和5年度年間行事
- 2 寮行事
- 3 スポーツ活動の結果
- 4 文化・芸術、地域交流活動の状況
 - (1) 文化・芸術活動
 - (2) 地域交流活動
 - (3) おけいこ

- 5 児童会活動の状況
 - (1) 学園集会
 - (2) 生徒会活動
 - (3) 児童会
- 6 支援の状況
 - (1) ケースカンファレンス
 - (2) 心理面接
 - (3) 受診・通院の状況
 - (4) アフターケアの実績

VI その他

- 1 会議の実績
 - (1) 園内会議の実績
 - (2) 園外会議の実績
- 2 研修
 - (1) 園内研修
 - (2) 児童向け研修
 - (3) 園外研修
- 3 来園
 - (1) 施設概要説明研修
 - (2) 実習生等研修受入れ状況
- 4 訓練等の実績
 - (1) 避難訓練の実績
 - (2) 消防訓練

VII 後援会

- 1 経緯
- 2 令和5年度役員
- 3 総会

I 施設の概要

1 名称及び所在地

名称 : 鳥取県立喜多原学園
所在地 : 鳥取県米子市泉706

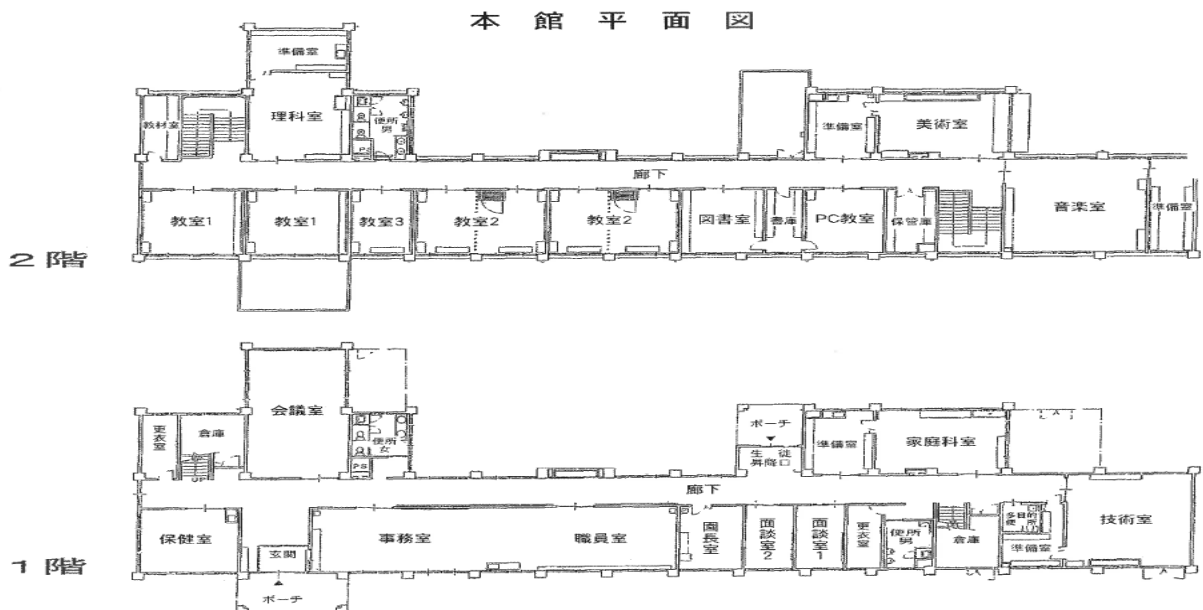
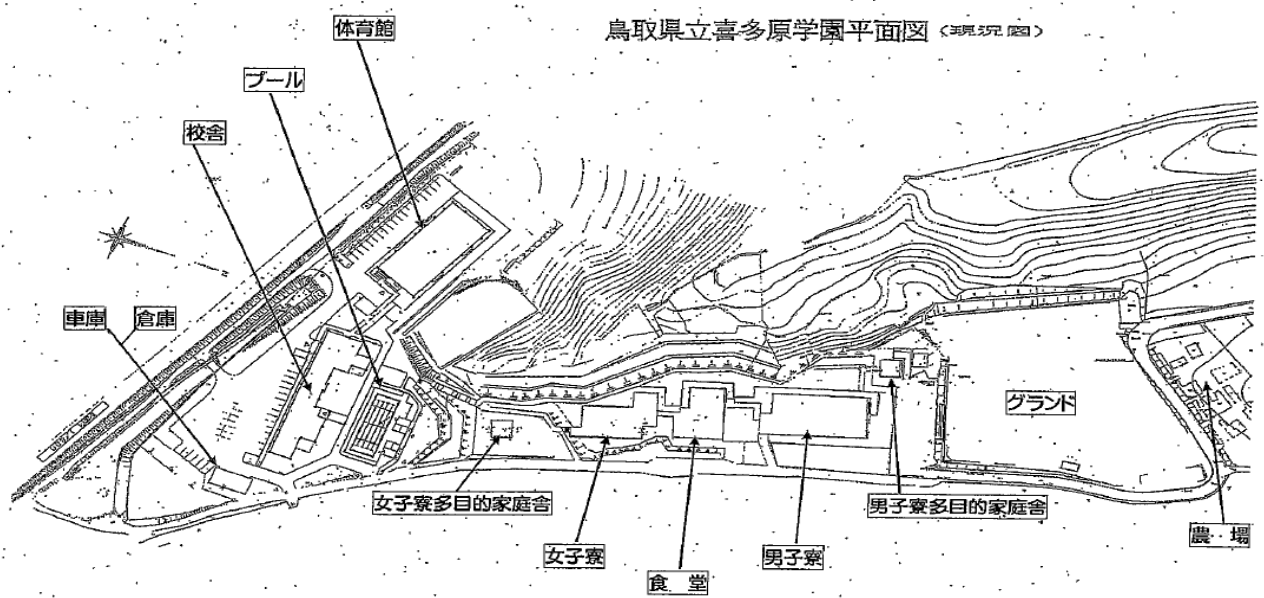
2 設置主体及び施設種別

設置主体 : 鳥取県
施設種別 : 児童自立支援施設 (根拠法: 児童福祉法第44条)

3 目的

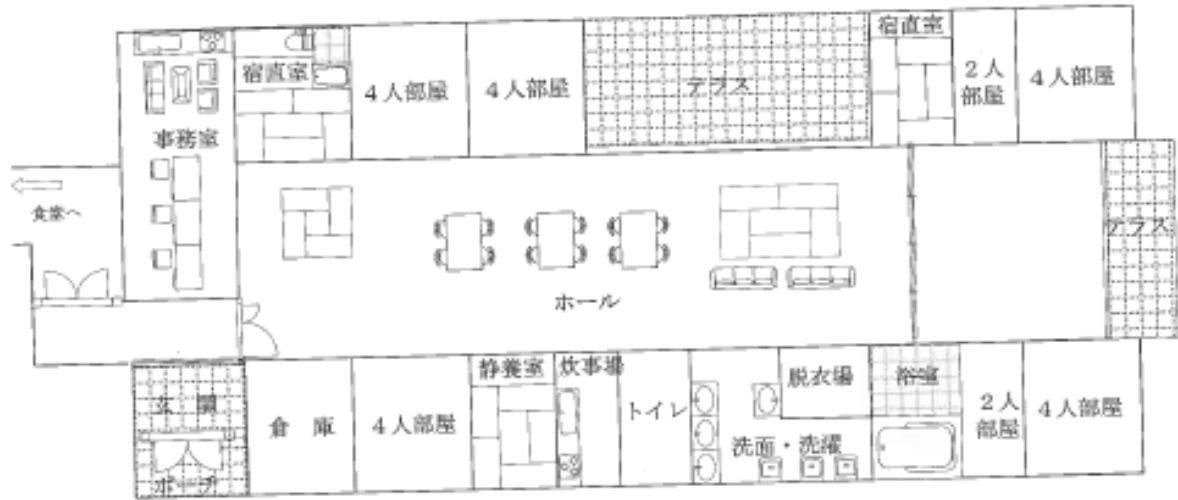
児童福祉法第44条に規定する児童自立支援施設で、「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援すること」を目的とする

4 施設平面図

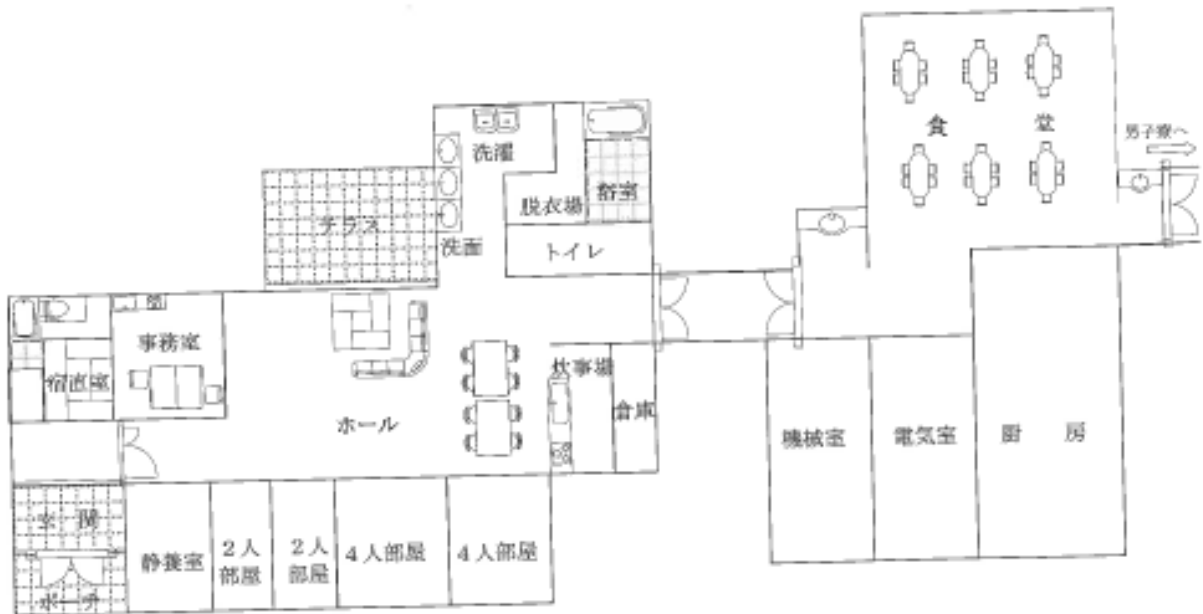




男子寮



女子寮・食堂



5 沿革

(1) 創設

明治33年の感化法制定により感化院の設置が義務付けられ、鳥取県においては明治42年に現在の米子市東福原の地に県立奨業園が開設され、現在の児童自立支援事業の礎が打ち立てられた。

その後、明治・大正・昭和・平成の4代にわたり社会的背景の変遷を反映しながら、感化法・少年教護法・児童福祉法と法令の変遷を踏まえながら、一貫してたゆみない努力と人間味豊かなふれあいによって、子どもたちの健全育成と自立支援に努めてきた。

(2) 沿革

明治42.11.11 県立奨業園として西伯郡福米村東福原に設置された。敷地2,456坪、農地640坪。

大正2.4.1 県立を廃止し、私立奨業園と改称した。

15.7.17 再び県立となり、奨業学校と改称した。

昭和9.10.10 少年教護法の施行により、教護院県立奨徳学校と改めた。

23.1.1 児童福祉法の施行により、児童福祉説 教護院県立奨徳学校となった。

27.5.11 本館（2階建て、スレート葺、モルタル仕上げ）完成

40.12.23 西伯郡伯仙町喜多原に移転。昭和41.1.1 名称を喜多原学園と改称。

45.7.13 第2号棟を休止し、第7号棟を開設（男子寮）

48.7.18 「喜多原だより」第1号発刊。

50.4.1 第4・5号寮を休止。男子寮4か寮となる。

54.3.23 農場に梅の木50本を植える。

54.10.16 創立70周年記念後援会事業として、本館前に記念碑を建立。11.13 除幕式。

62.4.24 創立80周年記念事業テニスコート完成式。

平成4.12.17 喜多原学園改築検討委員会開催

8.4.1 園内居住から通勤交代制へ移行。福生東小学校、福生中学校分教室開設。

10.4.1 児童福祉法改正により、「教護院」から「児童自立支援施設」へ名称変更。

10.4.30 新寮舎、食堂、多目的家庭舎完成（定員：男子寮24名 女子寮12名）

16.3 喜多原学園改築基本計画策定

16.4.1 福生中学校分教室を「福生中学校いずみ分校」へ改組。

19.11.14 新体育館完成

20.12.24 新プール完成

21.4.1 給食業務外部委託開始

21.4.30 新本館完成

21.11.11 創立100周年記念

Ⅱ 理念と支援方針

1 理念

「自立し、社会と調和して生活する」

子どもが自立するには、子どもの心に「自信」や「自尊感情」が生まれることが大切である。

そして、子どもが社会と調和して生活するには、社会に対して「安心感」や「帰属意識」「貢献感」を得ることが大切である。

2 支援方針

- (1) 安定した生活と、子どもの自主性を大切にする。
- (2) 個別支援と集団支援のバランスを大切にする。
- (3) 学園が有する環境を大切にする。

(1) 安定した生活と、子どもの自主性を大切にする

子どもの心に自信や自尊感情が生まれるために、子どもに安定した生活を提供しなければならない。そのためには、職員が一人ひとりの子どもを受容し、真摯に向き合い、理解し、関係を深めることを心がけることが大切である。職員と子どもとの関係性だけでなく、常に子ども同士の関係性、職員同士の関係性（子どもを支援する上での組織的な関係性）を考え、深めていくことで、初めて子どもの生活の安定性を確保した支援が可能となる。

また、子どもの自主性を大切にして、学園生活において発生する約束事は、出来るだけ少なくするよう心がけなければならない。やむを得ず、約束事を設ける場合も押し付けや管理のためではなく、子どもが気持ちよく生活するために必要なルールという認識を職員も子どもも持つことが必要である。

(2) 個別支援と集団支援のバランスを大切にする

子どもの社会性を培うための支援のあり方として、個別に支援する方法も重要であるが、従来から言われてきた集団として支援する方法（グループワーク）も重視すべきである。個別に支援する方法と集団として支援する方法は、車の両輪であるため、どちらに偏重しても支援はうまく行かない。

個別支援によって、子どもの自信や自尊感情を育み、子どもが持つ自立する力を引き出すと共に、良い影響を与えられる集団作りを行い、その集団に子どもが帰属意識を持ち、安心して過ごせる居場所となるよう支援することが大切である。集団が持つ影響力も活用しながら、子どもが生活の中で他者を尊重し、集団に貢献する気持ち、問題を解決する力などの社会的スキルを学び、社会と調和して生活することができる土台を身につける支援を行う。

(3) 学園が有する環境を大切にする

喜多原学園には、豊かで美しい自然環境があるが、この自然環境も含めて、学園の物的環境（寮舎、校舎、グラウンド、体育館など）や人的環境（職員、子ども、家族、関係機関など）を大切にし、職員が率先し、子どもと共にこれらの環境の整備や調整に心がける。そうすることで、学園全体に一体感が醸成され、園内が愛情と理解のある雰囲気満たされる。

結果的に、学園の環境は、子どもの健全な育みの場として、理想的な空間となる。

子どもは、そこで生活することによって、自然と自信や自尊感情が生まれ、社会に対しての安心感や帰属意識、貢献感を得ることとなる。

R6 年度 喜多原学園児童支援方針

理念：自立し、社会と調和して生活する

テーマ：子どもが安心して、生活が送れる環境づくり大作戦！！

「安心」：衣食住が満たされ、自由に自分が出せる場。守られていると感じられる場。

「生活」：健康で、日課に沿って過ごすことができる。精神的に安定して過ごすことができる。

【職員の姿勢】

- 子ども、保護者をしっかりと理解し、アセスメントする。自立支援計画を立て、定期的に見直す。
- 決して怒らない。説明をきちんと丁寧に行う。正直である。
- 面倒くさがらない。あきらめない。何事も最後まで、前向きに取り組む。約束を守る。話を聴く。
- 子どもの権利を侵害しない。子どもの気持ちを尊重する。子どもを信じる。

【子ども】

◆支援目標：入所に至った課題に向き合い、自信を持って、積極的に、前向きに生活を送ることができる。相手を理解し、思いやることができる。

課題	支援方法（例）
<ul style="list-style-type: none"> ・入所理由を意識できていない。 ・語彙が少なく、コミュニケーションが苦手 ・すぐにイライラする。感情のコントロールが苦手。 ・「考える」ことが苦手 ・問題解決能力が稚拙。人のせいにする。 ・自尊心が低い。 ・学力が低い。 ・愛着未形成。スキンシップ不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期面接：課題や生活についての振り返りと次の目標 ○コグトレ、朝読書、子ども新聞 ○性暴力防止プログラム、暴力防止プログラム、アンガーマネジメント、ストレスマネジメント、「喜多原温泉」 ○生活や体験を通しての感情表現の広がり ○心理面接、ソーシャルスキルトレーニング ○「褒められる、認められる、役立つ、達成する」を味わう。 ○虐待をしない。 ○子どものモデルであるという意識。約束を守る。一貫性。 ○毎日の登校、学習する環境整備

【保護者】

◆支援目標：子どもの課題の背景を理解し、子どもを信じることができる。

課題	支援方法（例）
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身を受け入れることができない。怖い。 ・親の課題に気付いていない。 ・子どもの悪い面しか目がいかない。 ・すぐにイライラする。感情のコントロールが苦手。 ・かかわり方がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの生活の様子、成長した姿を定期的に伝える。（電話、来園、喜多原たより、ホームページ等） ○参観週間案内、行事参観案内 ○定期面接、家庭訪問：入所に至った背景を再度振り返る。今後の受け入れ準備を整える。 ○計画的・意図的な親子交流。家庭外泊。 ○アンガーマネジメント、ペアレントトレーニング、子どもの特性理解、「喜多原温泉」。 ○子どもの視点変換。（いい面を見つけていく。気づく。）

【地域・原籍校】

◆支援目標：子ども自身のよさを知り、地域で、学校で子どもを育てる、受け入れる体制を整える

課題	支援方法（例）
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子が入所前で止まっている。 ・受け入れる気持ちが持てない。 ・子ども個人の課題としか思っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの生活の様子、成長した姿を定期的に伝える。 ○参観週間への参加呼びかけ ○「非行のメカニズム」講座等学校等へ出張講義。 ○子どもの受け入れ準備を整える。 ○施設（喜多原学園）理解。施設準開放。

令和6年度 喜多原学園 児童支援行動目標

理念

子どもが自立し、社会と調和して生活することを支援する。

＜支援方針＞

1 安定した生活と子どもの自主性を大切にする

- よく食べ、よく寝て、よく遊び、よく学ぶ環境を作る。日課に沿った生活を送ることができるようにする。
- まずは子どもの意見を聞く。物事を決める際も子どもに意見を求める。
- 子どもにきちんと丁寧に説明する。
- 子どもが考える機会を与える。
- 子どもに誠実に対応する。約束は守る。
- 学習にしっかりと取り組む仕掛けを作る。
- 家族との交流機会を作る。

2 個別支援と集団支援のバランスを大切にする。

- 定期的に自立支援計画について協議し、見直す（意図的によい面を引き出す工夫）
- 個別で関わる時間を設ける（面接、作業、遊び、学習など）
- 子どもの長所、得意分野を把握し、活動のリーダーとして役割を与える。
- 児童間の問題、トラブルは児童間で解決させてみる。考える時間を与える。
- 子どものよい面を見出し、褒める、認める。
- スポーツ、イベントに積極的に取り組む。

3 学園が有する環境を大切にする。

- 職員の長所、得意分野を把握し、職位や寮の壁を取っ払って、その能力を活用する。（職員カルテ）
- 園長以下職員が何事も積極的に参加、取り組む。
- チームで相談し、意見を出し合い、取り組んでいく。
- 敷地内の清掃や寮内の整理整頓等環境美化に取り組み、明るく見晴らしの良い施設を維持する。
- 子どもも職員も物は大事にする。修繕が必要な個所、物が壊れたときにはすぐに対応する。

2 児童について

(1) 在籍児童数の推移

月	4月						5月						6月						7月						8月						9月					
	男子			女子			男子			女子			男子			女子			男子			女子			男子			女子								
校種	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他
初日児童数	0	7	0	0	3	0	0	9	0	0	4	1	0	9	0	0	4	1	0	9	0	0	4	1	0	8	0	0	4	1	0	8	0	0	4	1
入所	0	1	0	0	0	1	0	①	0	0	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
月末児童数	8			4			9			5			9			5			8			5			8			5			8			4		
計	12						14						14						13						13						12					

月	10月						11月						12月						1月						2月						3月					
	男子			女子			男子			女子			男子			女子			男子			女子			男子			女子								
校種	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他
初日児童数	0	8	0	0	3	1	0	9	0	0	3	1	0	9	0	0	3	1	0	1	0	0	4	1	0	1	0	0	4	1	0	1	0	0	4	1
入所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	①	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
月末児童数	9			4			9			4			9			5			10			5			10			5			6			5		
計	13						13						14						15						15						11					

※○数字は、初日入所児童のため、初日児童数に含めてある。

(2) 退所児童の状況：R5年度内退所児童数9人

退所先	家庭	他施設	里親	自立援助ホーム	その他	計
男子	6	0	1	0	1	8
女子	1	0	0	0	0	1
計	7	0	1	0	1	9

進路	復学	高校進学	就職	無職	その他	計
男子	2	5	0	0	1	8
女子	1	0	0	0	0	1
計	3	5	0	0	1	9

(3) 年度中在籍児童の入所理由

年度	男女別	入所理由												合計	
		強盗等	暴力非行	窃盗	放火・火遊び	薬物非行	家庭内非行	校内非行	施設不適応	家出・浮浪・徘徊	性非行	不良交遊	生活指導を要する		その他
R5	男		1				5	1		1	4	1	1		14
	女			1			3		1			1			6

(4) 年度中在籍児童の入所経路及び措置変更元

年度	男女別	入所経路		措置変更元					その他
		児相措置	家裁決定	支援施設 児童自立	児童養護	心理治療	里親・ ファミリー ホーム		
R5	男	13	1	1		1			
	女	5	1				1		

(5) 年度中在籍児童の担当児相

年度	男女別	県内児相									県外児相			
		中央			倉吉			米子			小	中	他	
		小	中	他	小	中	他	小	中	他				
R5	男		4			3			7					
	女					1			3			2		

(6) 児童の在籍期間 (R6. 3. 31 基準)

	6月未満	1年未満	1.6月未満	2年未満	2.6月未満	3年未満	3.6月未満	4年未満	4年以上	計
男	6	2	2	2	1			1		14
女	1	2		2		1				6
計	7	4	2	4	1	1		1		20

(7) 年度中在籍児童の虐待認定児童数

	認定				入所後に判明			
	身体	性的	ネグ	心理	身体	性的	ネグ	心理
男	4							
女	3			1				
計	7	0	0	1	0	0	0	0

(8) 年度中在籍児童の精神的、心理的な特別なケアをしている児童数

	ADHD	反抗 挑戦性 障害	自閉ス ペクト ラム症	LD	知的 障害	てん かん	統合 失調症	躁うつ病 うつ病	素行 障害	その他
男	8	1	7						2	3
女	1				1					2
計	9	1	7	0	1	0	0	0	2	5

3 生活日程

6:40	起床・洗面・清掃
7:00	朝食
8:35	登校
8:45	朝学活
8:50	授業
12:15	昼食
13:15	授業
14:10	集会・掃除
	寮別活動
	(スポーツ・作業等)
17:00	清掃・自習・入浴
19:00	夕食
20:00	自由時間・日記・居室入室
22:00	消灯

いずみ分校時間割

朝学活	8:45~8:50
1時限目	8:50~9:35
2時限目	9:40~10:25
3時限目	10:30~11:15
4時限目	11:20~12:05
終学活	12:05~12:15
昼休み	12:15~13:15
5時限目 喜多原タイム(火・木)	13:15~14:00
集会(月)	14:10~14:40
掃除(火・金)	14:00~14:10
掃除(月)	14:40~14:50

※ いずみ分校での時間割は、曜日によって、多少変わる。
 ※ 中卒生は、塾講師等による学習支援が、中学生と同じ時間で行われている。

4 家庭との連携

(1) 家族との交流（児童）

（単位：人）

	電話	面会	家庭舎 交流	外出	計
男子	88	34	10	19	151
女子	15	8	4	3	30
計	103	42	14	22	181

(2) 家庭実習

（単位：人）

	家庭実習			計
	1泊	2泊	3泊以上	
男子	9	19	21	49
女子	7	3	6	16
計	16	22	27	65

(3) 家族との交流（職員）

（単位：人）

	電話	家庭訪問	来園面接	計
男子	279	33	128	440
女子	58	21	29	108
計	337	54	157	548

5 関係機関との連携

（単位：日）

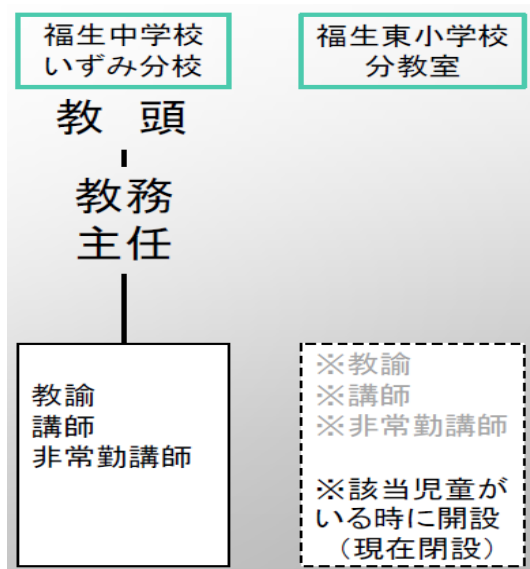
	電話	機関訪問	来園	同行	その他	計
児相	194	21	88	4	2	309
原籍校	11	4	11	0	0	26
警察	0	0	0	0	0	0
家裁	0	1	1	0	0	2
施設	0	0	0	0	0	0
里親・FH	7	1	4	0	0	12
その他	19	7	3	0	0	29
計	231	34	107	4	2	378

IV 学校教育

1 教職員

中学校：米子市立福生中学校いずみ分校

小学校：米子市立福生東小学校



区分	小学校 分教室	中学校 分校	特別支援学級		研修科	
			小	中	男	女
教員	0	7		1		
小学校	1	/	/	/	/	/
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
中学校	1	3		2	/	/
	2	4		1	/	/
	3	1			/	/
中卒	/	/	/	/		1
児童合計	0	8		3		1

2 来校状況

(1) 参観週間

①R5. 6. 19 (月) ~23 (金) ②R5. 11. 6 (月) ~10 (金) ③R6. 2. 13 (火) ~16 (金)

(2) 期末懇談期間

①R5. 7. 14 (金) ~20 (木) ②R5. 12. 18 (月) ~21 (木)

3 会議

(1) いずみ分校の運営に係る関係機関連絡協議会

日 時：令和6年1月23日(火) 14:00-16:00

場 所：喜多原学園会議室

参 加 者：鳥取県教育委員会小中学校課、教育人材開発課

米子市教育委員会学校教育課

米子市立福生中学校、いずみ分校 米子市立福生東小学校

鳥取県子ども家庭部家庭支援課

中央児童相談所、倉吉児童相談所、米子児童相談所、喜多原学園

内 容：喜多原学園の現状説明

いずみ分校の現状説明

意見交換：①年度途中の入所措置児童の学習保障について

②学級の開設や教員の適切配置について

V 令和5年度 事業の実績

1 令和5年度年間行事

月	学園	分校
4月	3日：着任式 11日：観桜会 26日：種まき	10日：始業式、入学式
5月	1日：着任式 16日：保育園交流（芋苗植え） 30日：田植え	12日：遠足（とっとり花回廊） 2日：学力診断テスト① 24日：中間テスト
6月		2日：学力診断テスト② 14日～16日：中学生修学旅行 19日～23日：参観週間① 26日～27日：期末テスト
7月	6日：プール掃除 21日：男子野球壮行会 24日～26日：中国地区野球大会（男子）	5日：学力診断テスト③ 21日：1学期終業式
8月	1日：児童向け講座（情報モラル）	24日：2学期始業式 31日：学力診断テスト④
9月	25日：女子バレーボール結団式 29日：大山登山（女子）	
10月	4日：稲刈り体験 10日：保育園交流（芋掘り） 12日：大山登山（男子） 25日：脱穀 12日～13日：中国女子バレーボール大会	6日：学力診断テスト⑤
11月	1日：中国地区駅伝大会壮行会 2日：駅伝大会 10日：園遊会 24日：創立記念マラソン 28日：サックス演奏会	9日：学力診断テスト⑥ 27日～28日：期末テスト
12月	12日：保育所交流（レクリエーション） 19日：デートDV予防教室 22日：クリスマス会 28日：もちつき	1日：学力診断テスト⑦ 22日：2学期終業式
1月	5日：とんどさん 26日：スキースノボ体験①	5日：3学期始業式 10日：学力診断テスト⑧
2月	2日：スキースノボ体験② 20日、21日：性教育講座	26日～27日：期末テスト
3月	5日：未来のパパママ講座 29日：学園職員離任式	12日：卒業を祝う会 22日：修了式、分校教員離任式

2 寮行事

月	男子	女子
4月	30日：釣り	18日：じゃがいも植付 29日：調理実習（たけのこ） 30日：フルーツサンド作り、公園外出
5月	11日：さつまいも畝作り 14日：ガイナレ鳥取試合観戦	3日：GW企画（藤の花見）
6月	8日：梅狩り 11日：マラソン大会&外食	6日：梅狩り
7月		
8月	9日：海水浴 17日：バイキング	8日：海水浴
9月	23日：デイキャンプ（森の国）	
10月	12日：大山登山 15日：釣り	21日：バイキング 29日：公民館祭り 28日～29日：キャンプ（南部町）
11月	3日：ジンギスカン	19日：乗馬センター餌やり体験&温泉
12月	2日：調理実習 27日：カラオケ	23日：映画鑑賞
1月	1日：初詣 28日：DVD鑑賞&スイーツ/受験勉強	2日：たこ焼きパーティー 3日：初詣 4日：温泉 27日：カラオケ
2月	23日：バイキング	10日：映画
3月	25日：カラオケ	19日：おわかれバレーボール大会 20日：カラオケ 28日：茶話会、お花見会

3 スポーツ活動の結果

大会名	開催日	場所	結果
中国少年野球大会	7/23～25	伯耆町総合スポーツ公園野球場	・第4位
中国女子児童 バレーボール大会	10/12～13	六番川水の公園体育館（岡山市）	・準優勝
中国児童 駅伝・マラソン大会	11/2	東広島運動公園（東広島市）	・第5位
水泳記録会	8月	各施設	※多数入賞者あり
スポーツテスト	5月	各施設	※多数入賞者あり

4 文化・芸術、地域交流活動の状況

(1) 文化・芸術活動

- ①12月 中国地区絵画展 5点出展
- ②10/29 大高地区公民館祭り絵画出展
- ③11/10 和太鼓演奏（※園遊会で発表）
- ④11/10 ダンス発表（※園遊会で発表）
- ⑤11/28 フルート・オカリナ演奏会（大原氏、鶴木氏）

(2) 地域交流活動

- ①こたか保育園との交流（年長児9名と交流）
 - ・ 5/16 芋の苗植え（喜多原学園）
 - ・ 10/10 芋ほり（喜多原学園）
 - ・ 12/12 保育交流会（こたか保育園）
- ②10/29 大高地区公民館祭り
- ③11/16 更生保護女性会とのチューリップの球根植え（4名来園）

(3) おけいこ

※月2回、日曜日 9:30-11:30 お茶、お花のお稽古を実施（女子のみ）
講師：山澤由美子氏

5 児童会活動の状況

(1) 学園集会

- ・ 月1回（基本的には第3月曜日）14:15～
- ・ 園長の話、児童の発表、連絡事項、その他（生徒会選挙、権利擁護研修等）

(2) 生徒会活動

- ①11/14（火） 15:15-16:45 活動内容：ドッジビー（場所：喜多原学園体育館）
 - ② 3/ 7（火） 15:15-16:45 活動内容：バレーボール（場所：喜多原学園体育館）
- ※生徒会から活動企画提案があり、実施。

(3) 児童会

- ・ 毎月2回、寮会の前日に実施。
 - ・ 困っていること、改善してほしいことなどの意見、要望。
 - ・ 給食のメニューについての感想や要望
- ※これらについては、翌日の寮会で取り上げられ、協議。その結果を寮会終了後即日返答。

6 支援の状況

(1) ケースカンファレンス

- ・助言者：大野耕策脳神経小児科医師（おおの発達クリニック）
- ・実施方法：来園による直接対面での助言。
- ・実施実績：月1回 計：12回。9:40～11:00

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男子	20日	—	22日	—	17日	21日	—	22日	—	18日	—	7日
女子	—	18日	—	20日	—	—	—	—	21日	—	15日	—

(2) 心理面接

- ・心理療法担当職員（会計年度任用職員）
 男子：村上 衡 勤務時間：毎週月曜、水曜 13:00～17:00
 女子：林 美奈子 勤務時間：毎週月曜 13:00～17:00
- ・実施方法
 男子：1日2名の児童に対して、50分程度の個別面接等。
 女子：1日2名の児童に対して、50分程度の個別面接またはグループ活動
- ・実施実績
 男子：個別：計122回 グループ：実施なし ケースカンファレンス：計7回
 女子：個別：計52回 グループ：計7回 ケースカンファレンス：計4回

※主な活動内容

個別：面接、プレイセラピー等 グループ：ヨガ、ストレスマネジメント等

(3) 受診・通院の状況

診療科	精神	内科	外科	皮膚科	耳鼻科	歯科	眼科	整形	婦人科	その他	計
男子	31	16	29	22	15	23	3	1	0	16	156
女子	17	35	2	19	2	5	13	3	1	5	102
計	48	51	31	41	17	28	16	4	1	21	258

(4) アフターケアの実績

- ・方法：児童の退所後3カ月、6カ月、9か月、1年、1年6カ月、2年が経過した時点で、担当寮職員が電話連絡等を行い、生活状況を把握する。

・活動実績

	男子	県外再掲	女子	県外再掲	合計	県外再掲
対象児童数	22	2	7	0	29	2
訪問による児童、保護者等面談	24	2	10	0	34	2
関係機関との会議（当事者参加を含む）	7	0	5	0	12	0
児童、保護者等の来園	5	0	8	0	13	0
本園への委託一時保護	0	0	0	0	0	0
児童への通話・メール	26	0	45	2	71	0
保護者との通話・メール	17	1	38	0	55	1
関係機関との通話・メール	62	1	34	0	96	1

VI その他

1 会議の実績

(1) 園内会議の実績

①指導課会

- ・開催頻度：月1回
- ・参加者：園長、次長、各寮職員、福生中学校長、いずみ分校教頭
- ・内容：連絡事項、当月の予定と行事の確認、主査担当者からの連絡、協議、分校からの諸連絡等。

②寮会

- ・開催頻度：男女とも月2回開催。(基本的に2週間に1回開催)
- ・参加者：園長、次長、各寮職員
- ・内容：連絡事項、当月の予定と行事の確認、行事担当者の割り振り、寮行事、児童の状況・自立支援目標の確認、児童からの要望への対応(生活、行事、給食等)、

③調整会議

- ・開催頻度：随時
- ・参加者：園長、次長、各寮長含む係長級以上の職員
- ・内容：施設・寮の運営に関する方向性の確認、自立支援計画票の確定等

④給食会議

- ・開催頻度：月1回
- ・参加者：次長、給食担当(両寮長、給食担当)、広鉄フーズサービス(佐久田管理栄養士、青戸調理員、中原調理員)
- ・内容：児童からの要望、学園からの要望、業者からの要望・依頼、児童の誕生日料理のリクエスト

⑤自立支援会議

- ・開催頻度：適宜
- ・参加者：各寮職員、措置児相担当者(※場合によっては、児童本人、保護者も入る)
- ・内容：児童相談所担当者と協議

⑥喜多原学園の施設としての役割に関する園内協議

- ※今後喜多原学園が担う役割とそれに伴う職員配置、施設ハード面についての園内協議
- ・日にち：4/17(月)、6/7(水)、6/13(火)、6/19(月)、7/5(水) 8/2(水)、8/25(金)
書面協議：10/25(水)、11/16(木)、12/12(火)、12/26(火)

⑦「喜多原学園をよくするワーキンググループ」

- ※喜多原学園の支援や環境を振り返り、さらに充実を図るためのワーキンググループを設置。
WG：チーム環境整備、チーム特別支援日課、チームLST、チーム業務改善
1チーム4人程度のグループで協議し、取り組みを発表。

⑧支援振り返りシート協議

- ※無断外出、物品窃取、器物損壊等の事案の再発防止のための振り返りの会を実施。
- ・日にち：10/26(木)、10/31(火)

⑨児童福祉行政指導監査

- ・日時：令和5年11月22日(水) 13:00-16:00
- ・場所：喜多原学園会議室

⑩園内権利擁護検討会

※R4年度に検討した園内31の権利擁護に関する項目について、具体的に取り組むための検討会

- ・日時：①11/22（水）②12/4（月）③12/20（水：書面）④1/15（月：書面）⑤2/5（月：書面）
⑥3/4（月：書面）

（2）園外会議の実績

①全国児童自立支援施設協議会役員会（主催：全国児童自立支援施設協議会）

日時：①令和5年6月21日（水）13:30-16:30

②令和5年10月26日（木）

③令和6年3月5日（火）13:30-17:00

場所：①アバローム紀の国（和歌山市） ②書面開催 ③オンライン

②全国児童自立支援施設施設長会議（主催：全国児童自立支援施設協議会）

日時：令和5年6月22日（木）～23日（金）

場所：アバローム紀の国（和歌山市）

③中国地区児童自立支援施設施設長・指導課長協議会（担当：成徳学校）

日時：令和5年4月20日（金）～21日（土）

場所：岡山県立成徳学校

④中国地区児童自立支援施設施設長オンライン会議

日時：①11/7（火）13:30-15:00 ②1/25（木）14:00-15:30

⑤中四国児童自立支援施設施設長・庶務主任研究協議会（担当：徳島学院）

日時：令和5年9月14日（木）～15日（金）

場所：ザグランドパレス徳島

⑥中国地区児童自立支援施設専門委員会

日時：①5/12、13 ②8/26、27 ③10/20、21 ④12/1、2 ⑤2/23、24

場所：①成徳学校 ②広島学園 ③育成学校 ④わかたけ学園 ⑤喜多原学園

内容：アセスメント（シートの活用状況）、権利擁護・アドボカシー

⑦児童入所施設協議会（主催：鳥取県社会福祉協議会）

日時：①5/11（木）13:30-16:00 ②11/14（火）13:30-15:30

場所：鳥取県福祉人材研修センター

⑧児童福祉入所施設協議会施設訪問チーム会議

日時：令和6年2月7日（水）14:00-16:00

場所：鳥取こども学園

⑨児童相談所とのケース連絡会

日時：令和5年10月23日（月）個別：9:00-12:00 合同会議：13:30-15:00

場所：喜多原学園会議室

⑩県立療育関係機関会議（主催：鳥取県子ども発達支援課）

日時：令和5年8月31日（木）14:00-16:00

場所：上井コミュニティーセンター

⑪要対協代表者会議

・米子市：令和5年6月1日（木）14:00-16:00 場所：ふれあいの里

・境港市：令和5年5月30日（火）14:00-16:00 場所：境港市役所

⑫生徒指導部会

米子市：3回 境港市：7回 鳥取市：7回

⑬青少年育成会総会

日時：令和5年4月8日（土） 13:30-15:00
場所：大高公民館

⑭西部地区里親会総会（主催：西部地区里親会）

日時：令和5年5月13日（土） 9:00-11:00
場所：米子聖園天使園

⑮社会を明るくする運動米子市推進委員会

日時：令和5年5月23日（火） 14:00-15:15
場所：米子市役所4階401号室

⑯鳥取県西部で子どもの権利擁護を考える会

日時：① 4/24（月） 9:30-12:00 ② 6/19（月） 12:00-13:15
④ 6/28（水） 10:00-11:00 ⑤ 7/28（金） 10:00-11:00 ⑥ 9/6（水） 10:00-11:00
⑦ 10/25（水） 10:00-11:00 ⑧ 1/10（水） 9:30-11:30 ⑨ 2/1（木） 9:30-11:30
場所：米子児童相談所

⑰オレンジリボンたすきリレー実行委員会（主催：米子聖園天使園）

日時：①6/2（金） 9:30-11:00 ②10/27（金） 9:00-11:30
場所：ふれあいの里

⑱オレンジリボンたすきリレー式典（主催：オレンジリボン襷リレー実行委員会）

日時：令和5年11月11日（土） 8:30-12:30
場所：米子市立東山中学校体育館

2 研修

（1）園内研修

①トラウマインフォームドケアに関する研修（園内研修）

日時：令和5年5月8日（月） 9:15-10:45
場所：喜多原学園会議室
講師：喜多原学園女子心理療法担当職員 林 美奈子氏

②救急講習（園内研修）

日時：令和5年6月9日（金） 10:30-12:00
場所：喜多原学園体育館
講師：西部消防局

③被措置児童等虐待対応研修（園内研修）

日時：令和5年7月4日（火） 11:00-11:30
場所：喜多原学園会議室
講師：園長 坪倉嘉隆

④喜多原学園「理念」に関する研修（園内研修）

日時：①5/15（月） ②6/20（火） ③7/7（金） ④8/10（木） いずれも 10:30-12:00
場所：喜多原学園会議室
講師：Being-Prem 代表 長谷川 理恵氏

⑤不審者対応研修（園内研修）

日時：令和5年8月25日（金） 11:00-12:00
場所：喜多原学園女子寮
講師：米子警察署生活安全課 警部補 家納竜馬氏

⑥思春期児童の解離について

日時：令和6年1月11日（木） 13:15-14:15
場所：喜多原学園会議室/オンライン
講師：精神保健福祉センター所長 原田 豊氏

⑦思春期の自傷へのかかわり方について

日時：令和6年2月21日（水） 13:15-14:15
場所：喜多原学園会議室/オンライン
講師：鳥取大学医学部附属病院精神科医師 大立 博昭氏

（2）児童向け研修

①【児童向け】女子寮非行防止教室（園内研修）

日時：令和5年 7月 7日（金）14:45-15:45
場所：喜多原学園会議室
講師：西部サポートセンター

②【児童向け】情報モラル講座（園内研修）

日時：令和5年 8月 1日（火）男子：13:30-14:15 女子：14:25-15:10
場所：喜多原学園音楽室
講師：鳥取県警察本部少年・人身安全対策課職員

③【児童向け】デートDV予防教室

日時：令和5年12月19日（火）男子：14:10-15:00 女子：15:15-16:15
場所：喜多原学園音楽室
講師：米子市家庭児童相談室婦人相談員 土山 博子氏

④【児童向け】性教育講座

日時：①令和6年2月20日（火）男子：14:30-15:30 女子：15:30-16:30
②令和6年2月21日（水）男子：15:30-16:30 女子：14:30-15:30
場所：喜多原学園会議室
講師：滋賀県立大学人間看護学研究科准教授 古川 洋子氏

⑤【児童向け】未来のパパ・ママ講座

日時：令和6年3月5日（火）男子：14:20-15:20 女子：15:20-16:20
場所：喜多原学園会議室
講師：鳥取県助産師会3名

（3）園外研修

①新任施設長研修（主催：国立武蔵野学院）

日時：令和5年5月9日（火）、5月23日（火）～24日（水）、9月5日（火）～7日（木）
場所：オンライン、国立武蔵野学院

②施設視察

視察先：島根県立わかたけ学園（令和5年6月 6日）

和歌山県立仙溪学園 (令和5年6月23日：全国施設長会議時)
徳島県立徳島学院 (令和5年9月13日：中四国施設長・庶務課長会議時)

③全国児童自立支援施設職員研修

日時：令和5年11月29日～12月1日

場所：鹿児島県

※伝達研修：日時：令和5年12月8日(金) 10:30-12:00 場所：喜多原学園会議室

④中四国児童自立支援施設職員研修

日時：令和5年12月14日(木)、15日(金)

場所：島根県立わかたけ学園

※伝達研修：日時：令和6年1月12日(金) 10:30-12:00 場所：喜多原学園会議室

⑤福祉教育機関合同研修会(主催：喜多原学園)

日時：令和6年1月31日(水) 10:00-14:45

場所：喜多原学園会議室

講師：施設における理念と支援方針について 田中浩之氏(那須こどもの家施設長)
「わたしっていいな」をはぐくもう 長谷川理恵氏(Being Prem代表)

⑥福祉研究発表会

日時：令和6年2月26日(月) 13:00-17:00

場所：オンライン

⑦鳥取県児童福祉入所施設協議会研修

日時：①令和5年12月15日(金) ②令和6年1月19日(金) 9:00-17:00

場所：鳥取県福祉人材研修センター

⑧基幹的職員研修(主催：鳥取県家庭支援課)

日時：令和5年11月9日(木) 10:00-17:00

場所：オンライン

⑨西部地区福祉職新任職員研修(主催：米子児童相談所)

日時：①5/26(金) 10:00-15:45 ②6/16(金) 9:00-16:00

場所：ヴィレスト日吉津他

⑩性教育研修「子どもの生と性」(主催：米子聖園天使園)

日時：令和5年6月19日(月) 10:00-15:00

場所：米子聖園天使園

講師：東京医療保健大学教授 渡曾 睦子氏

⑪社会福祉施設食中毒・感染症発生予防研修会(主催：米子保健所)

日時：令和5年6月30日(金) 14:00-15:40

場所：オンライン

講師：米子保健所

⑫苦情解決研修(主催：鳥取県社会福祉協議会)

日時：令和5年7月19日(水) 13:30-16:00

場所：鳥取県福祉人材研修センター

講師：YMCA 米子医療福祉専門学校非常勤講師 中川 正純氏

⑬メンタルヘルス研修会（主催：鳥取県）

日時：令和5年7月28日（金） 13:15-16:20

場所：鳥取県庁講堂

⑭不当要求等対策責任者研修（主催：鳥取県）

日時：令和5年8月1日（火） 13:30-16:30

場所：米子コンベンションセンター

3 来園

（1）施設概要説明研修

①倉敷市青少年育成センター

日時：令和5年 8月22日（火） 13:30-14:30 参加者：10名

②鳥取県人事企画課

日時：令和5年10月17日（火） 15:00-16:30 参加者：2名

③智頭町保護観察境界

日時：令和5年11月 1日（水） 10:00-11:30 参加者：9名

④三朝町教育委員会

日時：令和5年11月29日（水） 10:00-11:30 参加者：7名

⑤鳥取家庭裁判所米子支部

日時：令和5年12月18日（月） 14:30-16:00 参加者：3名

⑥鳥取BBS、鳥取保護観察所職員授業参観

日時：令和6年 2月29日（木） 10:00-12:00 参加者：4名

（2）実習生等研修受入れ状況

①県立米子養護学校初任者研修

日時：令和5年6月15日（木） 9:00-16:00 実習者：4名

②島根大学教職員大学院学生向け研修

日時：令和5年6月19日（月） 10:00-12:00 受講者：2名

③韓国からの研修職員への体験研修

日時：令和5年8月21日（月） 9:00-17:00 受講者：洪（ホン）研修員

④大阪健康福祉短期大学学生保育実習

期間：令和5年9月～10月（うち10日間） 実習者：1名

令和6年1月～2月（うち10日間） 実習者：2名

⑤境高校初任者研修

日時：令和5年10月26日（木） 10:00-16:00 実習者：2名

⑥鳥取県児童福祉入所施設協議会施設訪問研修

日時：令和5年12月12日（火）、13日（水） 10:00-17:30

実習者：鳥取こども学園 大前氏

4 訓練等の実績

（1）避難訓練の実績

- ・月1回実施。
- ・地震、火災、谷崩落を想定して、避難訓練を実施。実績：12回

（2）消防訓練

①令和5年10月27日（金） 14:23-15:10 場所：本館正面玄関 講師：米子消防署

②令和6年 3月27日（木） 15:30-16:15 場所：男子寮駐車場 講師：米子消防署

Ⅶ 後援会

1 経緯

- ・設置：昭和41年4月1日
- ・目的：喜多原学園の事業を後援し、学園児童の福祉の向上を図ることを目的とする。
 - ・学園運営の協力に関する事
 - ・児童福祉理念の普及支援に関する事
 - ・児童福祉の向上のための支援に関する事
 - ・児童福祉に関する調査研究に関する事
 - ・その他目的達成のために必要な事業に関する事
- ・会員：喜多原学園の事業に協力する者

2 令和5年度役員

- ・会長：赤沢 亮正
- ・副会長：上森 英史、本田 修 (R6.1月～鶴木真理子)
- ・事務局長：馬詰 俊哉
- ・委員：関山 公郎 藤原 公仁 安次 里絵 錦織 剛一
坪倉 嘉隆 保坂 葉子 永田 博文 小谷 智志 谷野 純麗
- ・監事：中川 正純 松永 芳久

3 総会

- 日時：令和5年12月17日(日) 13:30-14:30
- 場所：喜多原学園会議室
- 参加者：12名
- 内容：令和4年度事業報告及び収入支出決算報告(会計監査報告)
令和5年度事業計画及び収入支出予算
役員辞任と再任の承認
その他